

# 「議会基本条例」研修会一名取・関西大学准教授むかえて



だいたう

# 議会報告

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
議員団控室直通  
TEL/FAX 871-5588

大東市議会では議会の憲法というべき「議会基本条例」の制定にむけて特別委員会で活発な論議が行われています。2月1日、「専門家の意見を聞く」と名取良太・関西大学准教授を講師にむかえ、研修会が行われ、全議員が出席しました。

## 四條畷・部屋北遺跡シンポ 「馬・船・渡来人と東アジア」

6日、なわて歴史クラブ主催の部屋北遺跡のシンポジウム「部屋北遺跡と東アジア―馬・船・渡来人―」が四條畷市立体育館の多目的ホールで行われ、多くの市民が参加しました。



同遺跡は東アジアで初めて、馬の全身骨格が出土したことで有名になりましたが、「河内馬飼」の放牧地のひとつとみられ、朝鮮半島から輸入されたと思われる竈(かまど)や韓式系土器なども出土しています。

当日は、田中夏木市長が歓迎の挨拶を行い、菱田哲郎氏(京都府立大学教授)が「5世紀の列島社会と東アジア」と題して基調講演。また同遺跡の発掘を担当した府教委の岡田賢氏・宮崎泰史氏、市教委の野島稔氏がそれぞれパワーポイントを使って報告に立ちました。

ウラ面に関連記事あり



特別ゲストとして金大煥氏(京都大学院生)が通訳付で韓国と部屋北遺跡の比較検討を行い、一致点と同時になお慎重に研究すべき点についても話されました。シンポには、

## 12月市議会 日本共産党議員の一般質問項目

古崎議員―18日 午後2時すぎ  
・民主政権下での市政のあり方  
・道路などの改善箇所について  
・深野北御供田線道路について  
・学力、教育問題  
・議員質問項目の進捗状況一覧表

豊芦議員―21日 午後4時前  
・竜間の近鉄バス運行について  
・療育センターの建替えについて  
・新田地域の工業誘致と街づくり  
・歴史遺産の活用で地域おこしを

飛田議員―22日 午前10時  
・避難訓練時の仮説トイレについて  
・北条、野崎青少年教育センターの職員配置の見直しについて  
・空き地の有効活用についてI  
・空き地の有効利用についてII



TEL.090-3864-5037



TEL.090-1079-8939



TEL.090-7099-8429

市議員  
つとむ  
市議員  
かつこ  
市議員  
しげる

### 法律相談

1月7日(木)7時～  
大東市民会館  
※先着順です  
871-5588まで

# 日本共産党—H20年度一般会計決算に反対

平成20年度一般会計決算について反対討論を行います。まちづくり委員会所管分では、日本共産党をはじめとする議会の指摘で担当課が旧同和むけ市営住宅の滞納家賃について明渡請求裁判を含むこげつき処理で努力されているが、なお1億7千万円の未回収金が残っていること、また市報の「人権コラム」欄の記事原稿を31万円もかけて外注しているのは問題です。理由を聞くと、職員が書いていたがマンネリ化してきたので、外注したとのことですが、それなら無理してコラムを続けず止めるか、回数を減らすべきで、納得できるものではありません。

いきいき委員会所管分では、北条・野崎の人権文化センター発行の広報紙は市報記事を焼き直した程

度のものであり、カラーで多額の費用をかけて発行するのは問題です。また北条・野崎の青少年教育センターは、すでに当初の設置目的を終了しており、他の施設と比べて職員配置が多過ぎます。これらをやめて青少年健全育成事業に一本化すべきです。

なお公立保育所民営化の第1号である上三箇保育園を運営している社会福祉法人「寝屋川福祉会」の理事長と施設長夫妻が不正経理で懲戒解雇され、理事全員が辞職した事件が発覚しました。この事件は、民営化によって生じたことは明らかで、岡本市長は法人選定の責任を痛感すべきです。また、これ以上の民営化はやめるべきことを指摘して反対討論とします。

## 公明—決算討論で「岡本市政の唯一の汚点は国保の赤字」「受益者負担は民主主義の原則」「国保撤退も視野に入れて再建計画をつくれ」と主張

公明党はH20年度国保会計決算の賛成討論で、「大東市は行革をすすめて財政を立て直してきた。しかし国保は14億円以上の累積赤字で、岡本市政で唯一の汚点。国の制度上の問題という見方もあるが、

加入者は利用と負担の相互扶助で助けられていることを自覚すべきだ。市は国保からの撤退も視野に入れて、国保会計建て直し計画をつくるべき」と発言。

### 平成20年度国民健康保険特別会計決算についての日本共産党議員団の反対討論

国保会計の厳しさを保険税の増額で乗り切ることは、困難であります。そもそも、国保会計が圧迫される要因の根本には医療費の圧迫があり、市民の健康管理をどう維持するのか。体の具合が悪ければ初期段階で医者にかかれるようにしていただきたい。全額負担の資格書の発行はやめていただきたい。また、調整交付金など国庫支出金が年々削減されてきた国保制度の問題があります。異常に高すぎる国保料(税)を引き下げ、国保会計を立て直すためには、国に対して

- ①収納率によって国庫補助金をカットするペナルティは廃止せよ。
- ②国庫支出金を増額せよ。と強く要望していただきたい。

さらに、大東市民の所得水準は府下でも低い方であり、若者や自営業者が大半の加入者となっております。

国保加入者の過半数が無職者(退職高齢者)や(フリーター)で、加入者の平均所得の急激な低下がみられます。

よって、大東市の独自減免枠を広げること。21年度からさらに保険税が値上げとなり、400万以下の所得層の未収が拡大しないための減免を考えていただきたい。収納グループはじめ窓口業務で追われている状況を改善し、滞納者の状況をしっかり把握して収納につなげていただきたいことを申し述べ、反対討論と致します。

**●語りと音楽に心を寄せる会**

**12月13日(日)午後2時**

「えにし庵」(四條畷市南野二一六一三)

日本むかし話で有名な ときだ **常田富士男さん来る!**

薮屋北にちなむ創作物語  
を常田さんが語ります

参加費 500円